

令和3年度 園の自己評価

職員の自己評価に基づき、園の評価を行います。

○ゆうなのき保育園の保育理念に基づいた保育を行えているか

〈保育理念〉

- ・「心の力」の基礎を育む保育
 - ・「学びの芽生え」を生み出す保育
 - ・家庭と子どもの成長を「共に喜び、共に育てる」
-
- ・一人ひとりの思いや気持ちを愛情豊かに受け止めて、共感し、自分は大切にされている、必要だと感じられるよう、温かく受容的・応答的に関わることを意識している。
 - ・子どもたちの年齢、発達、興味等に合った環境づくりを行い、見て触れて感じ、たくさんすることに気づき、発見しながら、探索活動を行っていきける保育
子どもが自ら遊びを見つけることができる玩具や空間の配置、見通しをもって生活できる動線づくりを行っている
 - ・保護者の良き理解者となり、子どもの日々の成長や発達、様々な気づきを共に喜び、子育てを一緒に進めている。

○子どもの成長や発達、課題を見通して、月案等を作成しているか

- ・年間指導計画を軸に、前月の子どもの様子、発達等を踏まえながら作成している。
その時期に育ってもらいたい部分を考慮し、子どもたちが興味関心を持っていることや季節の行事等にも目を向けて、一步発展させた実現可能な内容も取り入れている。

○子どもの成長を助けたり、嗜好に合ったもの、苦手なものを取り入れる工夫などがされた給食を提供しているか。

- ・クラス担任と、季節、食材等による食べ具合の変化などにも注目して、メニューや食材のカットの仕方を工夫したり、量を調整したりしている。
- ・調理員が、配膳等で子どもと直接関わり会話した内容をヒントに、新しいメニューを取り入れたり、盛り付け等を工夫することで、楽しく食事ができるようにしている。

○危機管理は十分行えているか

- ・個々の発達を把握し、子どもの動きを予測して見守り、援助を行い、怪我、事故を未然に防ぐ。
ヒヤリハットや事故報告は、必ず職員全体で共有し、問題点を話し合う。
- ・毎月の避難訓練を、様々な時間、様々な状況を想定して行い、改善点があれば見直している。
- ・設備点検などから危険な場所や不具合を早期に発見、対応し、怪我や事故を未然に防ぐ。
- ・SIDSから子どもを守る（睡眠チェック、うつ熱の予防、顔の周りの危険物の排除、口の中の異物の確認等）
- ・感染症対策、衛生管理の徹底（職員、子ども、環境、嘔吐物の処理方法等）

- ・給食提供における異物混入、食中毒等の発生を防ぐ
- ・アレルギー対応のダブルチェック
- ・個人情報の取り扱い
- ・報告、連絡、相談の徹底

○丁寧な保護者対応が行えているか

- ・連絡帳の記入等が、多忙等で難しいご家庭には、保護者の負担にならないよう、園での様子をお伝えしながら家庭での様子を聞いている。保護者の思いには共感し、さらに発展した話ができるよう工夫をしている。
- ・保護者によって、出来事の捉え方、考え方が異なるので、丁寧に言葉を選んで伝え、共有したりご理解いただけるようにし、迷ったときは自己判断をせずに園長等に相談をする。
- ・子どもの発達に関する質問を受けることが多かった。保育者自身が発達についてより学習をし、知識を深めていくことで、質問に対して様々なアドバイスができるよう引き出しを増やしていきたい。

○園の今後の取り組み

- ・保育内容の充実

園の保育理念に基づく保育内容が充実していくよう、目指している保育の情報（研修機関から発信されている具体的な保育内容や方法、他園の実践の様子等）を職員に発信し、取り入れやすい工夫や、研修の情報を提供していく。

園内研修、外部研修等の内容を短時間勤務のパート職員も共有し、提供する保育の内容、安全性の充実に努める。

- ・危機管理の徹底

危機管理は多様であることを職員全員が再認識をし、その方法や日々の意識の向け方を確認していく。職員会議において、各職員が担当している係の役割のひとつとして、その係に関わる危機管理（着目点や注意点、備え等）を具体的に繰り返し職員全員に示していく。